



2010年7月30日
鉄道友の会

鉄道友の会 選定

2010年 島秀雄記念優秀著作賞決定

■ 単行本部門（4作品） ※発行日順

- ・和久田 康雄 「日本の市内電車」（成山堂書店）
- ・関 崇博 「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
- ・奈良崎 博保 「九州を走った汽車・電車」（JTBパブリッシング）
- ・宇都宮 照信 「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）

■ 定期刊行物部門（1作品）

- ・大熊 孝夫 「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■ 特別部門（1作品）

- ・「日本鉄道旅行地図帳」の刊行に対して（新潮社）

鉄道友の会(会長 須田寛、会員約 3500 名)は、島秀雄記念優秀著作賞選考委員会による選考のもと、2010 年島秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門 4 作品、定期刊行物部門 1 作品、特別部門 1 作品の合計 6 作品を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2010 年秋を予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2010年 島秀雄記念優秀著作賞 選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門

和久田 康雄 「日本の市内電車」 成山堂書店

本書は、日本の路面電車(本書では特に「市内電車」と表現しています)について、公文書を軸として法制度、経営、運輸、各社の概要、車両などを総合的にまとめたものです。近年では、環境への負荷が少なく高齢者にも優しい交通機関として、路面電車がふたたび脚光を集めつつありますが、こうした路面電車の歴史的過程を知るための基礎資料として、1895(明治 28)年から1945(昭和 20)年の50年間に開業した日本の全軌道の解明に挑んだのが本書です。本書は、今後の路面電車の研究に不可欠なデータブックとしての性格もあり、第一級の基礎資料として今後の鉄道の研究にも大きく貢献することが期待されます。著者は、すでに日本の私鉄を体系的にまとめた著書をいくつか発表されていますが、本書は、路面電車の創世記から終戦までの時代を要領良く、かつ網羅的にまとめた著作として高く評価し、選定しました。

■ 単行本部門

関 崇博 「門鉄デフ物語」 ネコ・パブリッシング

本書は、著者が今から40年ほど前に雑誌『鉄道ファン』(交友社)に連載し、さらに2004(平成16)年から翌年にかけて、再び『鉄道ファン』誌に決定版として掲載した連載をベースとして、単行本に再構成したものです。蒸気機関車の形態を大きく左右するデフ(除煙板)にこだわり続け、趣味者の視点で40年間の歳月をかけてまとめた本書は、まさに鉄道趣味の原点を示したものと言えます。デフは蒸気機関車の付随的な装備に過ぎませんが、客観事実と著者の考察・推測を明確に区分して記述し、著者の永きにわたる調査・研究の成果が集大成されています。デフの分類についても、実物の調査をベースとして資料の引用によりの確な考察が加えられており、鉄道研究における指導的な役割を果たす作品として、選定しました。

■ 単行本部門

奈良崎 博保 「九州を走った汽車・電車」 JTBパブリッシング

著者は、九州在住の熱心な鉄道ファンとして、これまで九州の鉄道に関する多くの著書や、雑誌記事などを発表されています。九州の北部における上質な鉄道の情報が、戦後の早い時期から発信されているのは、数名のベテランファンの力によるところが大きいのですが、特に著者はそのリーダー格として活動を続け、今も活躍を続けています。この作品は、個人の写真集ですが、取り上げられた鉄道は国鉄、私鉄を問わず広範囲にわたり、また、昭和20年代前半の貴重な写真なども含まれています。写真の質も高く、挿入された「小倉駅の変遷と足立停車場」などの歴史的な考察文も優れています。惜しむべきは、写真の印刷の質に難点があるのが残念ですが、本書は単なる写真集ではなく、著者の永年の趣味活動の成果が反映された作品として、選定しました。

■ 単行本部門

宇都宮 照信 「食堂車乗務員物語」 交通新聞社

これまで、鉄道関係者の体験記については、いくつかの書籍が発行されていますが、その大半は機関士や運転士、車掌あるいは駅員といった業務に関するもので、食堂車の乗務員についてはほとんど記録がありませんでした。著者は、1969(昭和44)年以来、食堂車の乗務員として現場の第一線で活躍を続けましたが、当時の石炭レンジ時代の調理法にはじまり、配膳方法や営業準備の方法、さらにはトラブルが生じたときの対処法など、大小の様々なエピソードを交えながら紹介しており、歴史の証言としても得難い記録となっています。また、鉄道趣味者ならではの視点で、今ではほとんど姿を消した食堂車の、全盛期における業務実態を紹介しており、資料としても貴重であるばかりでなく、「物語」として、また読み物としても楽しめる作品として選定しました。

■ 定期刊行物部門

大熊 孝夫 「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」

(交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載)

この作品は、JR東日本とJR西日本を結ぶ連絡鉄道としての役割を果たしている北越急行について、その乗入用の特急形電車(681・683系)を中心に紹介した著作です。著者は、その当事者として、特に車両の乗入れにあたっての苦労話など、エピソードを交えながらファン向けに紹介しています。異なる鉄道会社に乗入れる車両を設計するために、どのようなことを考慮し、どのような工夫が必要で、どのようなプロセスでこれを実現したのか、鉄道ファンが知りたいと思う内容が、貴重な資料とともに語られています。また、写真の質や選定も申し分なく、行き届いた文章とともに、完成度の高い作品として選定しました。

■ 特別部門

「日本鉄道旅行地図帳」の刊行に対して (新潮社)

このシリーズは、日本全国と旧外地の鉄道路線を、12分冊で網羅的に紹介するとともに、正縮尺の鉄道地図に現在の路線と廃線を収録し、開業年などの歴史情報を盛り込んだものです。これによって、鉄道の平面的な広がり、その時間的経過を重ね合わせて理解することが可能となりました。こうした企画は、多くの執筆者や協力者によってなされるため、細かいデータについては分冊によって精粗がありますが、監修者によってある一定の水準を確保しており、これをシリーズとしてまとめ、さらにファンばかりでなく広く一般の読者に向けて出版された努力は高く評価されます。本シリーズの出版により、日本の鉄道がより具体的に把握できるようになっただけでなく、地形や地勢などの地理的要因からなぜそのルートを選択したのかも容易に理解することが可能となり、特別部門にふさわしい企画として選定しました。

島秀雄記念優秀著作賞とは

島秀雄記念優秀著作賞は、毎年1回、趣味的見地に基づき鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道趣味の発展に寄与することを目的として、2008年に新設された賞です(今回は3回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の完成に功績のあった島秀雄氏(1901~1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門 …… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門・定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門 …… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、前年(今年では2009年1月1日から同年12月31日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準とします)を対象とします。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員および選考委員会が指定する出版社が候補となる作品の推薦を行い、選考委員会が選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今年の島秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員10名(委員長・西野保行)で構成しました。また、今年の候補の推薦は、2010年1月より推薦受付を開始し、2010年3月9日に締切り、単行本部門24作品、定期刊行物部門21作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目7-16 第五DMJビル3階
鉄道友の会(本部事務局) 担当:大庭、宮崎
Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL <http://www.jrc.gr.jp/>

< 添付資料 >

第 1 回 (2008 年) 選定

■ 単行本部門

- ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
- ・ 関田 克孝「のりもの絵本ー木村貞男の世界ー」フレーベル館

■ 定期刊行物部門

- ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
(電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007 年 3 月増刊号掲載)
- ・ 小西 純一「余部橋梁」
(交友社『鉄道ファン』2007 年 7 月号／8 月号掲載)
- ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
(電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007 年 7 月号／8 月号掲載)

■ 特別部門

- ・ 鉄道史資料保存会 (会報「鉄道史料」の継続出版に対して)

第 2 回 (2009 年) 選定

■ 単行本部門

- ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
- ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
- ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社

■ 定期刊行物部門

- ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
(電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008 年 1 月増刊号掲載)

■ 特別部門

- ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館